

Lesson 1 Nice to meet you. 自己しょうかいしよう

単元目標

友達に自分のことを知ってもらうために、好きな食べ物、動物、スポーツなどについて紹介したり、伝え合ったりすることができる。また、アルファベットの活字体の大文字を読んだり、書いたりすることができる。

: 重点を置いて評価する領域 : 記録に残す評価を行う場面案

領域 〔関連した活動〕		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
聞くこと 〔LW, LL1, LL2, Activity 1〕	評価規準	<知識>自己紹介で用いられる簡単な語句や基本的な表現（I like【食べ物等】.. Do you like【スポーツ等】?, Yes, I do., What do you like?等）について理解している。 <技能>自己紹介で用いられる簡単な語句や基本的な表現（I like【食べ物等】.. Do you like【スポーツ等】?, Yes, I do., What do you like?等）について、また、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、聞き取る技能を身に付けている。	友達のことを知るために、友達の自己紹介で、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	友達のことを知るために、友達の自己紹介で、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。	
	評価場面案	Activity 1	Activity 1	Activity 1	
	評価方法	教科書記述分析	行動観察	・行動観察 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析	
	ポイント・補足	<知・技>は、Activityに準じたTeacher's Talkで見取ることもできる。			
	評価基準	(a) ほぼ8割以上正しく聞き取っている。 (b) 概ね6割以上正しく聞き取っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) 友達のことを知るために、適切に反応したり、わからないところは聞き返したり質問を加えたりするなど工夫しながら、聞き取っている。 (b) 友達のことを知るために、適切に反応したり、わからないところは聞き返したりしながら、聞き取っている。 (c) 上記の状況に達していない。 ※文部科学省『小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック』（以下『研修ガイドブック』とする）2授業研究編Ⅱ p.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照	(a) 友達の聞き方のよさやこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に聞き取ろうとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に聞き取ろうとしている。 (c) 上記の状況に達していない。	
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.6-7 単元まとめ ワークシート Lesson 1 大問1, 2を活用する評価方法もある。（正答率8割：a, 6割：b）					
読むこと 〔Activity 2, The Alphabet ① 1, 2, 3, 4〕	評価規準	<知識>アルファベットの大文字の名前の読み方について理解している。 <技能>アルファベットの大文字について、名称読みする技能を身に付けている。	自分の名前を相手にしっかりと伝えるために、アルファベットの大文字を示しながら、自分の名前のスペル（アルファベット）を言っている。	自分の名前を相手にしっかりと伝えるために、アルファベットの大文字を示しながら、これまでの学習の中で気づいたことを活かして、自分の名前のスペル（アルファベット）を言おうとしている。	
	評価場面案	Activity 2	Activity 2	Activity 2	
	評価方法	行動観察	行動観察	行動観察	
	ポイント・補足	<思・判・表><主>は、自分の名前のスペルを相手に伝えるために言う（読む）様子を評価するとよい。			
	評価基準	(a) 名前のスペルを聞いて、アルファベットをほぼ9割以上正しくタッチしている。 (b) 名前のスペルを聞いて、アルファベットを概ね7割以上正しくタッチしている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) 大文字を示しながら、自分の名前のスペルを、はっきりと丁寧に言っている。 (b) 大文字を示しながら、自分の名前のスペルを言っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、自分の名前のスペルを、はっきりと丁寧に言おうとしている。また、友達の言い方のよさに気づこうとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、自分の名前のスペルを言おうとしている。 (c) 上記の状況に達していない。	
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.6-7 単元まとめ ワークシート Lesson 1 大問3を活用する評価方法もある。（正答率8割：a, 6割：b）					
話すこと〔やり取り〕 〔LL1, LL2, Activity 1, Activity 2〕	評価規準	<知識>自己紹介で用いられる簡単な語句や基本的な表現（I like【食べ物等】.. Do you like【スポーツ等】?, Yes, I do., What do you like?等）について理解している。 <技能>自己紹介で用いられる簡単な語句や基本的な表現（I like【食べ物等】.. Do you like【スポーツ等】?, Yes, I do., What do you like?等）を用いて、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、伝え合う技能を身に付けている。	お互いのことを知るために、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。	お互いのことを知るために、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。	
	評価場面案	LL1, LL2に準じた話すこと〔やり取り〕, Activity 1	LL1, LL2に準じた話すこと〔やり取り〕, Activity 1	LL1, LL2に準じた話すこと〔やり取り〕, Activity 1	
	評価方法	行動観察	行動観察	・行動観察 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析	
	ポイント・補足	LL1, LL2に準じた話すこと〔やり取り〕は、LL1, LL2のリスニング後に行うやり取りを想定している。はじめは教師と児童とで行い、児童同士のやり取りへとつなげる。児童同士のやり取りで評価するとよい。			
	評価基準	(a) 基本的な語句や目標表現をほぼ8割以上適切かつ正しく用いながら、伝え合っている。 (b) 基本的な語句や目標表現を概ね6割以上適切かつ正しく用いながら、伝え合っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) お互いのことを知るために、伝える内容や使う表現、順序を工夫したり、話すスピードや声の調子、反応の仕方などを工夫したりしながら、伝え合っている。また、自ら質問を加えるなど、会話を広げながら伝え合っている。 (b) お互いのことを知るために、伝える内容や使う表現、順序を工夫したり、話すスピードや声の調子、反応の仕方などを工夫したりしながら、伝え合っている。 (c) 上記の状況に達していない。 ※『研修ガイドブック』2授業研究編Ⅱ p.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照	(a) 友達の話や話し方、尋ね方のよさ及びこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に伝え合おうとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に伝え合おうとしている。 (c) 上記の状況に達していない。	

話すこと〔発表〕 〔Final Activity〕	評価規準	<p><知識>自己紹介で用いられる簡単な語句や基本的な表現 (I like 【食べ物等】 .. Do you like 【スポーツ等】?, Yes, I do., What do you like?等) について理解している。</p> <p><技能>自己紹介で用いられる簡単な語句や基本的な表現 (I like 【食べ物等】 .. Do you like 【スポーツ等】?, What do you like?等) を用いて、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、発表する技能を身に付けている。</p>	友達に自分のことを知ってもらうために、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表している。	友達に自分のことを知ってもらうために、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表しようとしている。
	評価場面案	Final Activity	Final Activity	Final Activity
	評価方法	行動観察	行動観察	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・教科書p.23「Lesson 1をふりかえろう」記入分析 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析
	評価基準	<p>(a) 基本的な語句や目標表現をほぼ8割以上適切かつ正しく用いながら発表している。</p> <p>(b) 基本的な語句や目標表現を概ね6割以上適切かつ正しく用いながら発表している。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>	<p>(a) 友達に自分のことを知ってもらうために、話す内容や使う表現、順序を工夫したり、より詳しい情報を付け加えるなど工夫したりしながら発表している。また、話すスピードや声の調子など工夫しながら発表している。</p> <p>(b) 友達に自分のことを知ってもらうために、話す内容や使う表現、順序を工夫しながら発表している。また、話すスピードや声の調子など工夫しながら発表している。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>	<p>(a) 友達の話や話し方のよさ及びこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に発表しようとしている。</p> <p>(b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に発表しようとしている。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>
書くこと 〔The Alphabet ① 5〕	評価規準	<p><知識>アルファベットの大文字の形について理解している。</p> <p><技能>アルファベットの大文字を書き写す技能を身に付けている。</p>		
	評価場面案	The Alphabet ① 5		
	評価方法	指導書『ワークシート編』4線の記述分析		
	ポイント・補足	アルファベットの大文字に関しては、本単元での指導・評価にとどまらず、小学校卒業までに書けるよう指導し評価する。		
	評価基準	<p>(a) 英語の書き方のきまりに沿って、ほぼ8割以上適切かつ正しく書き写している。</p> <p>(b) 英語の書き方のきまりに沿って、概ね6割以上適切かつ正しく書き写している。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p> <p>※英語の書き方のきまり：4線の正しい位置に正しい形で書く。</p>		
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.6-7 単元まとめワークシート Lesson 1 大問4を活用する評価方法もある。(正答率8割：a, 6割：b)				

Lesson 2 When is your birthday? たんじょう日カレンダーをつくろう

単元目標

クラスの誕生日カレンダーを作るために、友達の誕生日を尋ねたり、自分の誕生日を伝えることができる。また、アルファベットの活字体の小文字を読んだり、書いたりすることができる。

□ : 重点を置いて評価する領域 — : 記録に残す評価を行う場面案

領域 〔関連した活動〕		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
聞くこと 〔LW, LL1, LL2, LL3, LL4, Final Activity〕	評価規準	<知識>月日や季節の語句、誕生日の尋ね方(When is your birthday?)や答え方(My birthday is【月日】.)の表現について理解している。 <技能>月日や季節の語句、誕生日の尋ね方(When is your birthday?)や答え方(My birthday is【月日】.)の表現について、聞き取る技能を身に付けている。	友達のことを知るために、誕生日や好きな季節・行事について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	友達のことを知るために、誕生日や好きな季節・行事について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。	
	評価場面案	LL4 (Final Activity)	LL4 (Final Activity)	LL4 (Final Activity)	
	評価方法	教科書記入分析	行動観察	・行動観察 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析	
	ポイント・補足	<知・技>は、LL4に準じたTeacher's Talk (先生方の誕生日)で見取ることもできる。			
	評価基準	(a) ほぼ8割以上正しく聞き取っている。 (b) 概ね6割以上正しく聞き取っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) 相手の誕生日や好きな季節・行事を知るために、適切に反応したり、わからないところは聞き返したり質問を加えたりするなど工夫しながら、聞き取っている。 (b) 相手の誕生日や好きな季節・行事を知るために、適切に反応したり、わからないところは聞き返したりしながら、聞き取っている。 (c) 上記の状況に達していない。 ※『研修ガイドブック』2授業研究編Ⅱp.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照	(a) 友達の聞き方のよさやこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に聞き取ろうとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に聞き取ろうとしている。 (c) 上記の状況に達していない。	
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.8-9 単元まとめ ワークシート Lesson 2 大問1, 2を活用する評価方法もある。(正答率8割 : a, 6割 : b)					
読むこと 〔The Alphabet ② 1, 2, 3, 4〕	評価規準	<知識>アルファベットの小文字の名前の読み方や形について理解している。			
	評価場面案	The Alphabet ② 2			
	評価方法	行動観察			
	評価基準	(a) アルファベットの名称を聞いて、アルファベットの大文字と小文字のカードをほぼ9割以上正しく選んでいる。 (b) アルファベットの名称を聞いて、アルファベットの大文字と小文字のカードを概ね7割以上正しく選んでいる。 (c) 上記の状況に達していない。			
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.8-9 単元まとめ ワークシート Lesson 2 大問3を活用する評価方法もある。(正答率8割 : a, 6割 : b)					
話すこと〔やり取り〕 〔Activity 1, Activity 2, Final Activity〕	評価規準	<知識>月日や季節の語句、誕生日の尋ね方(When is your birthday?)や答え方(My birthday is【月日】.)の表現について理解している。 <技能>月日や季節の語句、誕生日の尋ね方(When is your birthday?)や答え方(My birthday is【月日】.)の表現について、伝え合う技能を身に付けている。	お互いのことを知るために、誕生日や好きな季節・行事について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。	お互いのことを知るために、誕生日や好きな季節・行事について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。	
	評価場面案	Final Activity	Final Activity	Final Activity	
	評価方法	行動観察	行動観察	・行動観察 ・教科書p.33「Lesson 2をふりかえろう」記入分析 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析	
	評価基準	(a) 基本的な語句や目標表現をほぼ8割以上適切かつ正しく用いながら、伝え合っている。 (b) 基本的な語句や目標表現を概ね6割以上適切かつ正しく用いながら、伝え合っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) お互いの誕生日や好きな季節・行事について知るために、伝える内容や使う表現、順序を工夫したり、話すスピードや声の調子、反応の仕方などを工夫したりしながら、伝え合っている。また、自ら質問を加えるなど、会話を広げながら伝え合っている。 (b) お互いの誕生日や好きな季節・行事について知るために、伝える内容や使う表現、順序を工夫したり、話すスピードや声の調子、反応の仕方などを工夫したりしながら、伝え合っている。 (c) 上記の状況に達していない。 ※『研修ガイドブック』2授業研究編Ⅱp.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照	(a) 友達の話や話し方、尋ね方のよさ及びこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に伝え合おうとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に伝え合おうとしている。 (c) 上記の状況に達していない。	
話すこと〔発表〕	評価規準				
	評価場面案				
	評価方法				
	評価基準				
書くこと 〔The Alphabet ② 5〕	評価規準	<知識>アルファベットの小文字の形について理解している。 <技能>アルファベットの小文字を書き写す技能を身に付けている。			
	評価場面案	The Alphabet ② 5			
	評価方法	指導書『ワークシート編』4線の記述分析			

ポイント・補足	アルファベットの小文字に関しては、本単元での指導・評価にとどまらず、小学校卒業までに書けるよう指導し評価する。		
評価基準	(a) 英語の書き方のきまりに沿って、ほぼ \nearrow 8割以上適切かつ正しく書き写している。 (b) 英語の書き方のきまりに沿って、概ね \nearrow 6割以上適切かつ正しく書き写している。 (c) 上記の状況に達していない。 ※英語の書き方のきまり：4線の正しい位置に正しい形で書く。	/	/
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.8-9 単元まとめ ワークシート Lesson 2 大問4を活用する評価方法もある。(正答率8割：a, 6割：b)			

Lesson 3 I have P.E. on Monday. 夢の時間わりをつくろう

単元目標

友達が好きなき曜日の時間割や、将来の夢に向けてどの教科にがんばって取り組んでいるかについて聞き取ったり、自分の将来の夢をかなえるための時間割を友達に知ってもらうために話すことができる。アルファベットの太文字と小文字の組み合わせがわかり、それらを書くことができる。

□ : 重点を置いて評価する領域 — : 記録に残す評価を行う場面案

領域 〔関連した活動〕		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
聞くこと 〔LW, LL1, LL2, LL3, LL4, Final Activity, S&L 4, Review 2〕	評価規準	<知識>教科・曜日の語句や、時間割について尋ねたり答えたりする表現（What do you have on【曜日】?, I have【教科】 on【曜日】.）について理解している。 <技能>教科・曜日の語句や、時間割について尋ねたり答えたりする表現（What do you have on【曜日】?, I have【教科】 on【曜日】.）について、聞き取る技能を身に付けている。	友達の将来の夢をかなえるための時間割を知るために、教科や時間割、曜日、職業などについて、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	友達の将来の夢をかなえるための時間割を知るために、教科や時間割、曜日、職業などについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。	
	評価場面案	LL1 (LL4)	LL4 (Final Activity)	LL4 (Final Activity)	
	評価方法	教科書記入分析	行動観察	・行動観察 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析	
	ポイント・補足	<知・技>は、LL1に準じたクラスの時間割を使ったTeacher's Talkで見取ることもできる。			
	評価基準	(a) ほぼ8割以上正しく聞き取っている。 (b) 概ね6割以上正しく聞き取っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) 友達の将来の夢をかなえるための時間割を知るために、適切に反応したり、わからないところは聞き返したり質問を加えたりするなど工夫しながら、聞き取っている。 (b) 友達の将来の夢をかなえるための時間割を知るために、適切に反応したり、わからないところは聞き返したりしながら、聞き取っている。 (c) 上記の状況に達していない。 ※『研修ガイドブック』2授業研究編Ⅱ p.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照	(a) 友達の聞き方のよさやこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に聞き取ろうとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に聞き取ろうとしている。 (c) 上記の状況に達していない。	
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.10-11 単元まとめ ワークシート Lesson 3 大問1, 2を活用する評価方法もある。（正答率8割：a, 6割：b）					
読むこと 〔The Alphabet ③, S&L 1, 2, 3〕	評価規準	<知識>アルファベットの太文字は文字の形に、小文字は文字の高さに特徴があることについて理解している。			
	評価場面案	The Alphabet ③			
	評価方法	行動観察			
	ポイント・補足	本単元後、太文字はLesson 4～5で、また小文字はLesson 7～9で学習が設けられているため、ここでは特徴に従った分類を指導し評価する。			
評価基準	(a) ほぼ8割以上正しく特徴を理解している。 (b) 概ね6割以上正しく特徴を理解している。 (c) 上記の状況に達していない。				
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.10-11 単元まとめ ワークシート Lesson 3 大問3を活用する評価方法もある。（正答率8割：a, 6割：b）					
話すこと〔やり取り〕	評価規準				
	評価場面案				
	評価方法				
	評価基準				
話すこと〔発表〕 〔Final Activity〕	評価規準	<知識>教科・曜日の語句や、時間割について尋ねたり答えたりする表現（What do you have on【曜日】?, I have【教科】 on【曜日】.）について理解している。 <技能>教科・曜日の語句や、時間割について尋ねたり答えたりする表現（What do you have on【曜日】?, I have【教科】 on【曜日】.）について、発表する技能を身に付けている。	友達に自分の将来の夢をかなえるための時間割を知ってもらうために、教科や時間割、曜日、職業などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表している。	友達に自分の将来の夢をかなえるための時間割を知ってもらうために、教科や時間割、曜日、職業などについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表しようとしている。	
	評価場面案	Final Activity	Final Activity	Final Activity	
	評価方法	行動観察	行動観察	・行動観察 ・教科書p.43「Lesson 3をふりかえろう」記入分析 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析	
	ポイント・補足	<思・判・表><主>は、Final Activityとともに、それに向けての個別練習やペア、小グループでの練習の際に見取ることもできる。			
	評価基準	(a) 基本的な語句や目標表現をほぼ8割以上適切かつ正しく用いながら発表している。 (b) 基本的な語句や目標表現を概ね6割以上適切かつ正しく用いながら発表している。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) 友達に自分の将来の夢をかなえるための時間割を知ってもらうために、話す内容や使う表現、順序を工夫したり、より詳しい情報を付け加えるなど工夫したりしながら発表している。また、話すスピードや声の調子など工夫しながら発表している。 (b) 友達に自分の将来の夢をかなえるための時間割を知ってもらうために、話す内容や使う表現、順序を工夫しながら発表している。また、話すスピードや声の調子など工夫しながら発表している。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) 友達の話や話し方のよさ及びこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に発表しようとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に発表しようとしている。 (c) 上記の状況に達していない。	

書くこと 〔Review 1〕	評価規準	<知識>アルファベットの大文字と小文字の形，組み合わせについて理解している。 <技能>アルファベットの大文字と小文字を書き写す技能を身に付けている。		
	評価場面案	Review1		
	評価方法	教科書記入分析		
	ポイント・補足	1. 本単元では，アルファベットの大文字と小文字の形，組み合わせと，それらを4線に書き写すことを評価する。 2. アルファベットに関しては，本単元での指導・評価にとどまらず，小学校卒業までに書けるよう指導し評価する。		
	評価基準	(a) 英語の書き方のきまりに沿って，ほぼ ／8割以上適切かつ正しく書き写している。 (b) 英語の書き方のきまりに沿って，概ね ／6割以上適切かつ正しく書き写している。 (c) 上記の状況に達していない。 ※英語の書き方のきまり：4線の正しい位置に正しい形で書く。		
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.10-11 単元まとめ ワークシート Lesson 3 大問 4 を活用する評価方法もある。(正答率8割：a, 6割：b)				

Lesson 4 This is my dream day. 自由な一日の過ごし方を伝えよう

単元目標

世界の子ども達や友達の一日の過ごし方について聞いて理解したり、自分の日課や習慣について伝え合ったり、自由な一日があったら、何がしたいかを話したりすることができる。

□ : 重点を置いて評価する領域 — : 記録に残す評価を行う場面案

領域 〔関連した活動〕		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと 〔LW, LL1, LL2, LL3, Activity 1, LL4, Activity 2, LL5, S&L 3, Review 3〕	評価規準	<知識>時刻・日課・頻度の語句や、日課・習慣を表す表現（What time do you【日課】?、What time is it?、I【日課】at【時刻】.）について理解している。 <技能>時刻・日課・頻度の語句や、日課・習慣を表す表現（What time do you【日課】?、What time is it?、I【日課】at【時刻】.）について、聞き取る技能を身に付けている。	友達の日課について知るために、起きる時刻や習慣について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	友達の日課について知るために、起きる時刻や習慣について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。
	評価場面案	LL3 (LL4)	Activity 1, Activity 2	Activity 1, Activity 2
	評価方法	教科書記入分析	行動観察	・行動観察 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析
	ポイント・補足	1. <知・技>は、LL3またはLL4に準じたTeacher's Talkで見取ることもできる。 2. <思・判・表><主>は、Activity 1やActivity 2等における実践的なコミュニケーションで見取るとよい。		
	評価基準	(a) ほぼ8割以上正しく聞き取っている。 (b) 概ね6割以上正しく聞き取っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) 友達の日課について知るために、適切に反応したり、わからないところは聞き返したり質問を加えたりするなど工夫しながら、聞き取っている。 (b) 友達の日課について知るために、適切に反応したり、わからないところは聞き返したりしながら、聞き取っている。 (c) 上記の状況に達していない。 ※『研修ガイドブック』2授業研究編Ⅱp.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照	(a) 友達の聞き方のよさやこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に聞き取ろうとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に聞き取ろうとしている。 (c) 上記の状況に達していない。
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.14-15 単元まとめ ワークシート Lesson 4 大問1, 2を活用する評価方法もある。（正答率8割：a, 6割：b）				
読むこと	評価規準			
	評価場面案			
	評価方法			
	評価基準			
話すこと〔やり取り〕 〔Activity 1〕	評価規準	<知識>時刻・日課・頻度の語句や、日課・習慣を表す表現（What time do you【日課】?、What time is it?、I【日課】at【時刻】.）について理解している。 <技能>時刻・日課・頻度の語句や、日課・習慣を表す表現（What time do you【日課】?、What time is it?、I【日課】at【時刻】.）について、伝え合う技能を身に付けている。	お互いの日課について知るために、一日の過ごし方について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。	お互いの日課について知るために、一日の過ごし方について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。
	評価場面案	Activity 1	Activity 1	Activity 1
	評価方法	行動観察	行動観察	・行動観察 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析
	評価基準	(a) 基本的な語句や目標表現をほぼ8割以上適切かつ正しく用いながら、伝え合っている。 (b) 基本的な語句や目標表現を概ね6割以上適切かつ正しく用いながら、伝え合っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) お互いの日課について知るために、伝える内容や使う表現、順序を工夫したり、話すスピードや声の調子、反応の仕方などを工夫したりしながら、伝え合っている。また、自ら質問を加えるなど、会話を広げながら伝え合っている。 (b) お互いの日課について知るために、伝える内容や使う表現、順序を工夫したり、話すスピードや声の調子、反応の仕方などを工夫したりしながら、伝え合っている。 (c) 上記の状況に達していない。 ※『研修ガイドブック』2授業研究編Ⅱp.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照	(a) 友達の話や話し方、尋ね方のよさ及びこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に伝え合おうとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に伝え合おうとしている。 (c) 上記の状況に達していない。
話すこと〔発表〕 〔Activity 2, Final Activity〕	評価規準	<知識>時刻・日課・頻度の語句や、日課・習慣を表す表現（What time do you【日課】?、What time is it?、I【日課】at【時刻】.）について理解している。 <技能>時刻・日課・頻度の語句や、日課・習慣を表す表現（What time do you【日課】?、What time is it?、I【日課】at【時刻】.）について、発表する技能を身に付けている。	自由な一日があったら何がしたいか伝えるために、理想の日課や習慣について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表している。	自由な一日があったら何がしたいか伝えるために、理想の日課や習慣について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表しようとしている。
	評価場面案	Final Activity	Final Activity	Final Activity
	評価方法	行動観察	行動観察	・行動観察 ・教科書p.55「Lesson 4をふりかえろう」記述分析 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析

	評価基準	<p>(a) 基本的な語句や目標表現をほぼ8割以上適切かつ正しく用いながら発表している。</p> <p>(b) 基本的な語句や目標表現を概ね6割以上適切かつ正しく用いながら発表している。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>	<p>(a) 自由な一日があったら何がしたいか伝えるために、話す内容や使う表現、順序を工夫したり、より詳しい情報を付け加えるなど工夫したりしながら発表している。また、話すスピードや声の調子など工夫しながら発表している。</p> <p>(b) 自由な一日があったら何がしたいか伝えるために、話す内容や使う表現、順序を工夫しながら発表している。また、話すスピードや声の調子など工夫しながら発表している。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>	<p>(a) 友達の話や話し方のよさ及びこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に発表しようとしている。</p> <p>(b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に発表しようとしている。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>
書くこと 〔S&L2, Review 1〕	評価規準 評価場面案 評価方法 評価基準			

Lesson 5 I can run fast. みんなの「できること」を集めよう

単元目標

ある人物や動物ができることを聞き取ったり、クラスの友達と「できることの木」を完成させるために、自分のできることを話したり、伝え合ったりすることができる。

: 重点を置いて評価する領域 _____ : 記録に残す評価を行う場面案

領域 〔関連した活動〕		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと 〔LW, LL1, LL2, LL3, LL4, Activity 2, Final Activity, S&L 1, 3, 4, Review 3〕	評価規準	<知識>できることを伝える表現 (I [You / He / She] can 【できること】 .. Can you 【できること】?, What can you do?) について理解している。 <技能>できることを伝える表現 (I [You / He / She] can 【できること】 .. Can you 【できること】?, What can you do?) について、聞き取る技能を身に付けている。	友達のことを知るために、友達のできることについて、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	友達のことを知るために、友達のできることについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。
	評価場面案	(LL2) LL4	Activity 2 (Final Activity)	Activity 2 (Final Activity)
	評価方法	教科書記入分析	行動観察	・行動観察 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析
	ポイント・補足	1. <知・技>は、LL2またはLL4に準じたTeacher's Talkで見取ることもできる。 2. <思・判・表><主>は、Activity 2やFinal Activity等における実践的なコミュニケーションで見取るとよい。		
	評価基準	(a) ほぼ8割以上正しく聞き取っている。 (b) ほぼ6割以上正しく聞き取っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) 友達のできることを知るために、適切に反応したり、わからないところは聞き返したり質問を加えたりするなど工夫しながら、聞き取っている。 (b) 友達のできることを知るために、適切に反応したり、わからないところは聞き返したりしながら、聞き取っている。 (c) 上記の状況に達していない。 ※『研修ガイドブック』2授業研究編Ⅱp.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照	(a) 友達の聞き方のよさやこれまでの学習の中で気づいたことを活かし、適切に聞き取ろうとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かし、適切に聞き取ろうとしている。 (c) 上記の状況に達していない。
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.16-17 単元まとめワークシート Lesson 5 大問1, 2を活用する評価方法もある。(正答率8割 : a, 6割 : b)				
読むこと	評価規準 評価場面案 評価方法 評価基準			
話すこと〔やり取り〕 〔Activity 1, Activity 2〕	評価規準	<知識>できることを伝える表現 (I [You / He / She] can 【できること】 .. Can you 【できること】?, What can you do?) について理解している。 <技能>できることを伝える表現 (I [You / He / She] can 【できること】 .. Can you 【できること】?, What can you do?) について、伝え合う技能を身に付けている。	お互いのことや友達(第三者)のことを知るために、お互いや友達(第三者)のできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。	お互いのことや友達(第三者)のことを知るために、お互いや友達(第三者)のできることについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。
	評価場面案	Activity 2	Activity 2	Activity 2
	評価方法	・行動観察 ・教科書記入分析	行動観察	・行動観察 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析
評価基準	(a) 基本的な語句や目標表現をほぼ8割以上適切かつ正しく用いながら、伝え合っている。 (b) 基本的な語句や目標表現を概ね6割以上適切かつ正しく用いながら、伝え合っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) お互いや友達(第三者)のできることを知るために、伝える内容や使う表現、順序を工夫したり、話すスピードや声の調子、反応の仕方などを工夫したりしながら、伝え合っている。また、自ら質問を加えるなど、会話を広げながら伝え合っている。 (b) お互いや友達(第三者)のできることを知るために、伝える内容や使う表現、順序を工夫したり、話すスピードや声の調子、反応の仕方などを工夫したりしながら、伝え合っている。 (c) 上記の状況に達していない。 ※『研修ガイドブック』2授業研究編Ⅱp.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照	(a) 友達の話や話し方、尋ね方のよさ及びこれまでの学習の中で気づいたことを活かし、適切に伝え合おうとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かし、適切に伝え合おうとしている。 (c) 上記の状況に達していない。	
話すこと〔発表〕 〔Final Activity〕	評価規準	<知識>できることを伝える表現 (I [You / He / She] can 【できること】 .. Can you 【できること】?, What can you do?) について理解している。 <技能>できることを伝える表現 (I [You / He / She] can 【できること】 .. Can you 【できること】?, What can you do?) について、発表する技能を身に付けている。	「できることの木」を完成させるために、自分のできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表している。	「できることの木」を完成させるために、自分のできることについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表しようとしている。
	評価場面案	Final Activity	Final Activity	Final Activity
	評価方法	行動観察	行動観察	・行動観察 ・教科書p.65「Lesson 5をふりかえろう」記述分析 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析

	評価基準	(a) 基本的な語句や目標表現をほぼ／8割以上適切かつ正しく用いながら発表している。 (b) 基本的な語句や目標表現を概ね／6割以上適切かつ正しく用いながら発表している。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) 「できることの木」を完成させるために、自分のできることについて、話す内容や使う表現、順序を工夫したり、より詳しい情報を付け加えるなど工夫したりしながら発表している。また、話すスピードや声の調子など工夫しながら発表している。 (b) 「できることの木」を完成させるために、自分のできることについて、話す内容や使う表現、順序を工夫しながら発表している。また、話すスピードや声の調子など工夫しながら発表している。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) 友達の話や話し方のよさ及びこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に発表しようとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に発表しようとしている。 (c) 上記の状況に達していない。
書くこと 〔Final Activity, S&L 2, Review 1〕	評価規準	<知識>できることを伝える表現 (I can 【できること】.) について理解している。 <技能>できることを伝える表現 (I can 【できること】.) について、なぞり書きする技能を身に付けている。	「できることの木」を完成させるために、自分のできることについて、文の一部をなぞり書きしたり、カードを貼ったり絵をかいたりして、表現している。	「できることの木」を完成させるために、自分のできることについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、文の一部をなぞり書きしたり、カードを貼ったり絵をかいたりして、表現しようとしている。
	評価場面案	Final Activity	Final Activity	Final Activity
	評価方法	巻末ワークシート記述分析	巻末ワークシート記述分析	・巻末ワークシート記述分析 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析
	評価基準	(a) 英語の書き方のきまりに沿って、ほぼ／8割以上適切かつ正しくなぞり書きしている。 (b) 英語の書き方のきまりに沿って、概ね／6割以上適切かつ正しくなぞり書きしている。 (c) 上記の状況に達していない。 ※英語の書き方のきまり：4線に正しく書く。文のはじめは大文字。単語と単語の間は空ける。単語の文字と文字の間は空けない。文末にピリオドをつける。など	(a) 「できることの木」を完成させるために、自分のできることについて、読み手が理解しやすいように丁寧になぞり書きし、カードや絵を工夫して表現している。 (b) 「できることの木」を完成させるために、自分のできることについて、読み手が読みやすいようになぞり書きし、表現している。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切になぞり書きしようとしている姿が多く見られる。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切になぞり書きしようとしている姿が見られる。 (c) 上記の状況に達していない。
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.16-17 単元まとめワークシート Lesson 5 大問4を活用する評価方法もある。(正答率8割：a, 6割：b)				

Lesson 6 Where do you want to go? 行ってみたい都道府県を伝えよう

単元目標

外国から来た友達が行ってみたい都道府県がどこかを理解したり，行ってみたい都道府県とその理由を簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合ったり，クイズにして出題することができる。

: 重点を置いて評価する領域 : 記録に残す評価を行う場面案

領域 〔関連した活動〕		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
聞くこと 〔LW, LL1, LL2, Activity 1, Activity 2, Final Activity, S&L 1, 3, 4, Review 3〕	評価規準	<知識>行ってみたい都道府県の尋ね方や答え方，その理由を伝える表現（Where do you want to go?, I want to go to【都道府県】.. I want to [see / eat / buy]【もの】.）について理解している。 <技能>行ってみたい都道府県の尋ね方や答え方，その理由を伝える表現（Where do you want to go?, I want to go to【都道府県】.. I want to [see / eat / buy]【もの】.）について，聞き取る技能を身に付けている。	友達のことを知るために，行ってみたい都道府県やその理由について，簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	友達のことを知るために，行ってみたい都道府県やその理由について，これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら，簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。	
	評価場面案	LL2 (Final Activity)	Activity 1 (Activity 2)	Activity 1 (Activity 2)	
	評価方法	教科書記述分析	行動観察	・行動観察 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析	
	ポイント・補足	1. <知・技>は，LL2またはFinal Activityに準じたTeacher's Talkで見取することもできる。 2. <思・判・表><主>は，Activity 1やActivity 2等における実践的なコミュニケーションで見取るとよい。			
	評価基準	(a) ほぼ8割以上正しく聞き取っている。 (b) 概ね6割以上正しく聞き取っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) 友達の行ってみたい都道府県やその理由について知るために，適切に反応したり，わからないところは聞き返したり質問を加えたりするなど工夫しながら，聞き取っている。 (b) 友達の行ってみたい都道府県やその理由について知るために，適切に反応したり，わからないところは聞き返したりしながら，聞き取っている。 (c) 上記の状況に達していない。 ※『研修ガイドブック』2授業研究編Ⅱp.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照	(a) 友達の聞き方のよさやこれまでの学習の中で気づいたことを活かして，適切に聞き取ろうとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして，適切に聞き取ろうとしている。 (c) 上記の状況に達していない。	
<u><知・技>に関して</u> 指導書『ワークシート編』p.18-19 単元まとめワークシート Lesson 6 大問1, 2を活用する評価方法もある。(正答率8割:a, 6割:b)					
読むこと	評価規準				
	評価場面案				
	評価方法				
	評価基準				
話すこと〔やり取り〕 〔Activity 1, Activity 2〕	評価規準	<知識>行ってみたい都道府県の尋ね方や答え方，その理由を伝える表現（Where do you want to go?, I want to go to【都道府県】.. I want to [see / eat / buy]【もの】.）について理解している。 <技能>行ってみたい都道府県の尋ね方や答え方，その理由を伝える表現（Where do you want to go?, I want to go to【都道府県】.. I want to [see / eat / buy]【もの】.）について，伝え合う技能を身に付けている。	お互いのことを知るために，行ってみたい都道府県やその理由について，簡単な語句や基本的な表現を用いて，伝え合っている。	お互いのことを知るために，行ってみたい都道府県やその理由について，これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら，簡単な語句や基本的な表現を用いて，伝え合おうとしている。	
	評価場面案	Activity 1 (Activity 2)	Activity 1 (Activity 2)	Activity 1 (Activity 2)	
	評価方法	行動観察	行動観察	・行動観察 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析	
	評価基準	(a) 基本的な語句や目標表現をほぼ8割以上適切かつ正しく用いながら，伝え合っている。 (b) 基本的な語句や目標表現を概ね6割以上適切かつ正しく用いながら，伝え合っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) お互いの行ってみたい都道府県やその理由について知るために，伝える内容や使う表現，順序を工夫したり，話すスピードや声の調子，反応の仕方などを工夫したりしながら，伝え合っている。また，自ら質問を加えるなど，会話を広げながら伝え合っている。 (b) お互いの行ってみたい都道府県やその理由について知るために，伝える内容や使う表現，順序を工夫したり，話すスピードや声の調子，反応の仕方などを工夫したりしながら，伝え合っている。 (c) 上記の状況に達していない。 ※『研修ガイドブック』2授業研究編Ⅱp.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照	(a) 友達の話や話し方，尋ね方のよさ及びこれまでの学習の中で気づいたことを活かして，適切に伝え合おうとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして，適切に伝え合おうとしている。 (c) 上記の状況に達していない。	
話すこと〔発表〕 〔Final Activity〕	評価規準	<知識>行ってみたい都道府県の尋ね方や答え方，その理由を伝える表現（Where do you want to go?, I want to go to【都道府県】.. I want to [see / eat / buy]【もの】.）について理解している。 <技能>行ってみたい都道府県の尋ね方や答え方，その理由を伝える表現（Where do you want to go?, I want to go to【都道府県】.. I want to [see / eat / buy]【もの】.）について，発表する技能を身に付けている。	外国の友達といっしょに行ってみたい都道府県を紹介するために，そこできることや理由について，簡単な語句や基本的な表現を用いて，発表している。	外国の友達といっしょに行ってみたい都道府県を紹介するために，そこできることや理由について，これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら，簡単な語句や基本的な表現を用いて，発表しようとしている。	
	評価場面案	Final Activity	Final Activity	Final Activity	
	評価方法	行動観察	行動観察	・行動観察 ・教科書p.79「Lesson 6をふりかえろう」記述分析 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析	

		<p>(a) 基本的な語句や目標表現をほぼ8割以上適切かつ正しく用いながら発表している。</p> <p>(b) 基本的な語句や目標表現を概ね6割以上適切かつ正しく用いながら発表している。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>	<p>(a) 外国の友達といっしょに行ってみたい都道府県を紹介するために、話す内容や使う表現、順序を工夫したり、より詳しい情報を付け加えるなど工夫したりしながら発表している。また、話すスピードや声の調子など工夫しながら発表している。</p> <p>(b) 外国の友達といっしょに行ってみたい都道府県を紹介するために、話す内容や使う表現、順序を工夫しながら発表している。また、話すスピードや声の調子など工夫しながら発表している。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>	<p>(a) 友達の話や話し方のよさ及びこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に発表しようとしている。</p> <p>(b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に発表しようとしている。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>
書くこと 〔Activity 2, LRW, Final Activity, S&L 2, Review 1〕	評価規準	<p><知識>行ってみたい都道府県やその理由を伝える表現 (I want to go to 【都道府県】 .. I want to [see / eat / buy] 【もの】 .) について理解している。</p> <p><技能>行ってみたい都道府県やその理由を伝える表現 (I want to go to 【都道府県】 .. I want to [see / eat / buy] 【もの】 .) について、なぞり書きしたり書き写したりする技能を身に付けている。</p>		
	評価場面案	LRW		
	評価方法	教科書記述分析		
	ポイント・補足	<知・技>は、行ってみたい都道府県について、授業用ワークシートを使ってなぞり書きする活動 (I want to go to 【都道府県】 .) と、都道府県名や見たいものを書き写す活動で見取ることができるとよい。		
	評価基準	<p>(a) 英語の書き方のきまりに沿って、ほぼ8割以上適切かつ正しくなぞり書きしたり書き写したりしている。</p> <p>(b) 英語の書き方のきまりに沿って、概ね6割以上適切かつ正しくなぞり書きしたり書き写したりしている。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p> <p>※英語の書き方のきまり：4線に正しく書く。文のはじめは大文字。単語と単語の間は空ける。単語の文字と文字の間は空けない。文末にピリオドをつける。など</p>		
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.18-19 単元まとめ ワークシート Lesson 6 大問4を活用する評価方法もある。(正答率8割：a, 6割：b)				

Lesson 7 I'd like pizza. オリジナル・メニューをつくろう

単元目標

レストランで注文された料理やその値段を聞き取ったり、注文をしたり、注文を受けたりすることができる。また、アルファベットの活字体の小文字で書かれた料理の名前をワークシートに書き写すことができる。

重点を置いて評価する領域 _____ : 記録に残す評価を行う場面案

領域 〔関連した活動〕		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>聞くこと 〔LW, LL1, LL2, Activity 1, Activity 2, Final Activity, S&L 1, 3, 4, Review 3〕</p> <p>※「聞くこと」に関して、本案では「重点を置いて評価する領域」には位置つけていませんが、リスニング活動や単元後半のFA等での記述や姿を見取って記録に残す評価ができる場合、_____を記しています。</p>	評価規準	<p><知識>食べ物や料理の名前、レストランでの注文の丁寧な受け答えや値段を尋ねる表現（What would you like?, I'd like【食べ物】. How much?, It is【値段】yen.）について理解している。</p> <p><技能>食べ物や料理の名前、レストランでの注文の丁寧な受け答えや値段を尋ねる表現（What would you like?, I'd like【食べ物】. How much?, It is【値段】yen.）について、聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>レストランで料理を注文したり注文を受けたりするために、食べ物や料理、値段について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。</p>	<p>レストランで料理を注文したり注文を受けたりするために、食べ物や料理、値段について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。</p>
	評価場面案	LL1 (Activity 2)	Activity 2, Final Activity	Activity 2, Final Activity
	評価方法	教科書記入分析	行動観察	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 教科書p.89「Lesson 7をふりかえろう」記述分析 指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析
	ポイント・補足	<p>1. <知・技>は、LL1またはActivity 2に準じたTeacher's Talkで見取ることもできる。</p> <p>2. <思・判・表><主>は、Activity 2やFinal Activity等における実践的なコミュニケーションで見取るとよい。</p>		
	評価基準	<p>(a) ほぼ8割以上正しく聞き取っている。</p> <p>(b) 概ね6割以上正しく聞き取っている。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>	<p>(a) レストランで料理を注文したり注文を受けたりするために、適切に反応したり、わからないところは聞き返したり質問を加えたりするなど工夫しながら、聞き取っている。</p> <p>(b) レストランで料理を注文したり注文を受けたりするために、適切に反応したり、わからないところは聞き返したりしながら、聞き取っている。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p> <p>※『研修ガイドブック』2授業研究編Ⅱp.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照</p>	<p>(a) 友達の聞き方のよさやこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に聞き取ろうとしている。</p> <p>(b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に聞き取ろうとしている。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>
<p><知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.20-21 単元まとめ ワークシート Lesson 7 大問1, 2を活用する評価方法もある。（正答率8割：a, 6割：b）</p>				
読むこと	評価規準			
	評価場面案			
	評価方法			
	評価基準			
話すこと〔やり取り〕 〔Activity 1, Activity 2, Final Activity〕	評価規準	<p><知識>食べ物や料理の名前、レストランでの注文の丁寧な受け答えや値段を尋ねる表現（What would you like?, I'd like【食べ物】. How much?, It is【値段】yen.）について理解している。</p> <p><技能>食べ物や料理の名前、レストランでの注文の丁寧な受け答えや値段を尋ねる表現（What would you like?, I'd like【食べ物】. How much?, It is【値段】yen.）について、伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>レストランで料理を注文したり注文を受けたりするために、食べ物や料理、値段について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。</p>	<p>レストランで料理を注文したり注文を受けたりするために、食べ物や料理、値段について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。</p>
	評価場面案	Final Activity	Final Activity	Final Activity
	評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 教科書記入分析 	行動観察	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 教科書p.89「Lesson 7をふりかえろう」記述分析 指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析
	評価基準	<p>(a) 基本的な語句や目標表現をほぼ8割以上適切かつ正しく用いながら、伝え合っている。</p> <p>(b) 基本的な語句や目標表現を概ね6割以上適切かつ正しく用いながら、伝え合っている。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>	<p>(a) レストランで料理を注文したり注文を受けたりするために、伝える内容や使う表現、順序を工夫したり、話すスピードや声の調子、反応の仕方などを工夫したりしながら、伝え合っている。また、自ら質問を加えるなど、会話を広げながら伝え合っている。</p> <p>(b) レストランで料理を注文したり注文を受けたりするために、伝える内容や使う表現、順序を工夫したり、話すスピードや声の調子、反応の仕方などを工夫したりしながら、伝え合っている。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p> <p>※『研修ガイドブック』2授業研究編Ⅱp.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照</p>	<p>(a) 友達の話や話し方、尋ね方のよさ及びこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に伝え合おうとしている。</p> <p>(b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に伝え合おうとしている。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>
話すこと〔発表〕	評価規準			
	評価場面案			
	評価方法			
	評価基準			
	評価規準	<p><知識>アルファベットの活字体の小文字で書かれた料理名の語句について理解している。</p> <p><技能>アルファベットの活字体の小文字で書かれた料理名の語句について、書き写す技能を身に付けている。</p>	<p>オリジナル・メニューをつくるために、料理名について、音声で十分に慣れ親しんだ語句の中から適したものを選んで、書き写している。</p>	<p>オリジナル・メニューをつくるために、料理名について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、音声で十分に慣れ親しんだ語句の中から適したものを選んで、書き写そうとしている。</p>
	評価場面案	LRW	LRW	LRW
	評価方法	巻末ワークシート記述分析	巻末ワークシート記述分析	<ul style="list-style-type: none"> 巻末ワークシート記述分析 指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析

<p>書くこと 〔LRW, S&L2, Review 1〕</p>	<p>ポイント・ 補足</p>	<p><思・判・表><主>は、教師用指導書『ワークシート編』Lesson 7を活用し、同じワークシートやMy Word Bankを参考に、目的に応じて語句を選び、書き写す活動を取り入れることで、巻末ワークシートでの記述に向けた学習改善を図ることもできる。</p>		
	<p>評価基準</p>	<p>(a) 英語の書き方のきまりに沿って、ほぼ／8割以上適切かつ正しく書き写している。 (b) 英語の書き方のきまりに沿って、概ね／6割以上適切かつ正しく書き写している。 (c) 上記の状況に達していない。</p> <p>※英語の書き方のきまり：4線に正しく書く。単語と単語の間は空ける。単語の文字と文字の間は空けない。など</p>	<p>(a) オリジナル・メニューをつくるために、音声で十分に慣れ親しんだ語句の中から適したものを選んで、読み手が理解しやすいように丁寧に書き写し、自分の考えや思いを表現している。 (b) オリジナル・メニューをつくるために、音声で十分に慣れ親しんだ語句の中から適したものを選んで、読み手が読みやすいように書き写し、自分の考えや思いを表現している。 (c) 上記の状況に達していない。</p>	<p>(a) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に書き写そうとしている姿が多く見られる。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に書き写そうとしている姿が見られる。 (c) 上記の状況に達していない。</p>
<p><知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.20-21 単元まとめ ワークシート Lesson 7 大問4を活用する評価方法もある。(正答率8割：a, 6割：b)</p>				

Lesson 8 Where is the station? 目的地への行き方を伝えよう

単元目標

イラストや地図に描かれたものや場所がどこにあるか聞き取ったり、地図を見ながらある場所や施設がどこにあるかを友達に尋ねたり、友道を案内することができる。小文字で書かれた場所を表す語句を理解し、書き写すことができる。

重点を置いて評価する領域 : 記録に残す評価を行う場面案

領域 〔関連した活動〕		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと 〔LW, LL1, LL2, LL3, LL4, Activity 1〕	評価規準	<知識>施設などの語句や、場所を尋ねたり案内したりする表現 (Where is 【施設】?, Go straight., Turn right [left] at the 【序数】 corner. など) について理解している。 <技能>施設などの語句や、場所を尋ねたり案内したりする表現 (Where is 【施設】?, Go straight., Turn right [left] at the 【序数】 corner. など) について、聞き取る技能を身に付けている。	目的地へ行くために、施設や道案内について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	目的地へ行くために、施設や道案内について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。
	評価場面案	LL2, LL4	LL2, LL4, Activity 1	LL2, LL4, Activity 1
	評価方法	教科書記入分析	行動観察	・行動観察 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析
	ポイント・補足	1. <知・技>は、LL2またはLL4に準じたTeacher's Talkで見取ることもできる。 2. <思・判・表><主>は、Activity 1で実際の校舎配置図等を使って、グループごとに道案内をする活動で見取るとよい。		
	評価基準	(a) ほぼ8割以上正しく聞き取っている。 (b) 概ね6割以上正しく聞き取っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) 目的地へ行くために、適切に反応したり、わからないところは聞き返したり質問を加えたりするなど工夫しながら、聞き取っている。 (b) 目的地へ行くために、適切に反応したり、わからないところは聞き返したりしながら、聞き取っている。 (c) 上記の状況に達していない。 ※『研修ガイドブック』2 授業研究編Ⅱ p.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照	(a) 友達の聞き方のよさやこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に聞き取ろうとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に聞き取ろうとしている。 (c) 上記の状況に達していない。
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.24-25 単元まとめ ワークシート Lesson 8 大問1, 2を活用する評価方法もある。(正答率8割:a, 6割:b)				
読むこと 〔LRW, S&L 1, 2, 3, Review 2〕	評価規準	<知識>アルファベットの活字体の小文字で書かれた施設名の語句について理解している。 <技能>アルファベットの活字体の小文字で書かれた施設名の語句について、読み理解する技能を身に付けている。		
	評価場面案	LRW		
	評価方法	行動観察		
	評価基準	(a) ほぼ8割以上の内容を読み取っている。 (b) 概ね6割以上の内容を読み取っている。 (c) 上記の状況に達していない。		
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.24-25 単元まとめ ワークシート Lesson 8 大問3を活用する評価方法もある。(正答率8割:a, 6割:b)				
話すこと [やり取り] 〔Activity 1, Activity 2, Activity 3, Final Activity〕	評価規準	<知識>施設などの語句や、場所を尋ねたり案内したりする表現 (Where is 【施設】?, Go straight., Turn right [left] at the 【序数】 corner. など) について理解している。 <技能>施設などの語句や、場所を尋ねたり案内したりする表現 (Where is 【施設】?, Go straight., Turn right [left] at the 【序数】 corner. など) について、伝え合う技能を身に付けている。	お互いの町を案内し合うために、目的地の施設や行き方について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。	お互いの町を案内し合うために、目的地の施設や行き方について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。
	評価場面案	Final Activity	Final Activity	Final Activity
	評価方法	行動観察	行動観察	・行動観察 ・教科書p.101「Lesson 8をふりかえろう」記述分析 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析
評価基準	(a) 基本的な語句や目標表現をほぼ8割以上適切かつ正しく用いながら、伝え合っている。 (b) 基本的な語句や目標表現を概ね6割以上適切かつ正しく用いながら、伝え合っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) お互いの町を案内し合うために、伝える内容や使う表現、順序を工夫したり、話すスピードや声の調子、反応の仕方などを工夫したりしながら、伝え合っている。また、自ら質問を加えるなど、会話を広げながら伝え合っている。 (b) お互いの町を案内し合うために、伝える内容や使う表現、順序を工夫したり、話すスピードや声の調子、反応の仕方などを工夫したりしながら、伝え合っている。 (c) 上記の状況に達していない。 ※『研修ガイドブック』2 授業研究編Ⅱ p.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照	(a) 友達の話や話し方、尋ね方のよさ及びこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に伝え合おうとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に伝え合おうとしている。 (c) 上記の状況に達していない。	

話すこと [発表]	評価規準		
	評価場面案		
	評価方法		
	評価基準		
書くこと [LRW, S&L2, Review1]	評価規準	<p><知識> アルファベットの活字体の小文字で書かれた施設名の語句について理解している。</p> <p><技能> アルファベットの活字体の小文字で書かれた施設名の語句について、書き写す技能を身に付けている。</p>	
	評価場面案	LRW	
	評価方法	教科書記述分析	
	評価基準	<p>(a) 英語の書き方のきまりに沿って、ほぼ／8割以上適切かつ正しく書き写している。</p> <p>(b) 英語の書き方のきまりに沿って、概ね／6割以上適切かつ正しく書き写している。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p> <p>※英語の書き方のきまり：4線に正しく書く。単語と単語の間は空ける。単語の文字と文字の間は空けない。など</p>	
<p><知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.24-25 単元まとめワークシート Lesson 8 大問4を活用する評価方法もある。(正答率8割：a, 6割：b)</p>			

Lesson 9 This is my dream friend. 友達になってみたい人をしようかいしよう

単元目標

人物の得意なことや特徴について短い話を聞き、その概要を理解したり、友達になってみたい人について伝え合うことができる。また、音声で慣れ親しんだ語句や基本的な表現を用いて、友達になってみたい人の特徴をポスターに書き、それを用いて話すことができる。

: 重点を置いて評価する領域 : 記録に残す評価を行う場面案

領域 〔関連した活動〕		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと 〔LW, LL1, LL2, Final Activity, S&L 4, Review 3〕	評価規準	<知識>人物の特徴を表す語句や表現 (He [She] can 【できること】 .. I am [He is / She is] good at 【得意なこと】 .. He [She] is [brave / cool / cute].) について理解している。 <技能>人物の特徴を表す語句や表現 (He [She] can 【できること】 .. I am [He is / She is] good at 【得意なこと】 .. He [She] is [brave / cool / cute].) について、聞き取る技能を身に付けている。	友達のあこがれの人やキャラクターを知るために、その人物やキャラクターの得意なことやできること、特徴について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	友達のあこがれの人やキャラクターを知るために、その人物やキャラクターの得意なことやできること、特徴について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。
	評価場面案	LL2 (Final Activity)	LL2 (Final Activity)	LL2 (Final Activity)
	評価方法	教科書記入分析	行動観察	・行動観察 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析
	ポイント・補足	1. <知・技>は、LL2またはFinal Activityに準じたTeacher's Talkで見取することもできる。 2. <思・判・表><主>は、Final Activity等における実践的なコミュニケーションで見取るとよい。		
	評価基準	(a) ほぼ／8割以上正しく聞き取っている。 (b) 概ね／6割以上正しく聞き取っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) 友達のあこがれの人やキャラクターを知るために、適切に反応したり、わからないところは聞き返したり質問を加えたりするなど工夫しながら、聞き取っている。 (b) 友達のあこがれの人やキャラクターを知るために、適切に反応したり、わからないところは聞き返したりしながら、聞き取っている。 (c) 上記の状況に達していない。 ※『研修ガイドブック』2授業研究編Ⅱp.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照	(a) 友達の聞き方のよさやこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に聞き取ろうとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に聞き取ろうとしている。 (c) 上記の状況に達していない。
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.26-27 単元まとめ ワークシート Lesson 9 大問1, 2を活用する評価方法もある。(正答率8割 : a, 6割 : b)				
読むこと 〔LRW, S&L 1, 2, 3, Review 2〕	評価規準	<知識>人物の特徴を表す語句や表現 (He [She] can 【できること】 .. I am [He is / She is] good at 【得意なこと】 .. He [She] is [brave / cool / cute].) について理解している。 <技能>人物の特徴を表す語句や表現 (He [She] can 【できること】 .. I am [He is / She is] good at 【得意なこと】 .. He [She] is [brave / cool / cute].) について、読み理解する技能を身に付けている。	友達のあこがれの人やキャラクターを知るために、その人物やキャラクターの得意なことやできること、特徴について、簡単な語句や基本的な表現を読んで理解している。	友達のあこがれの人やキャラクターを知るために、その人物やキャラクターの得意なことやできること、特徴について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を読んで理解しようとしている。
	評価場面案	LRW	LRW	LRW
	評価方法	行動観察	行動観察	・行動観察 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析
	ポイント・補足	1. <知・技>は、LRWに準じた内容（人物の得意なことやできること、特徴）のワークシートを作成し、読んで理解しているかを評価することもできる。 2. <思・判・表><主>は、LRWで書かれた友達のワークシートを読んで、思ったことや考えたことを付箋紙やふりかえりシートに書かせる活動で見取るとよい。その際、友達の書き方を自分の書き方と比べたり、書かれている内容から友達の思いを読み取ったりするなど、考えを深めるための助言を与えるとよい。		
	評価基準	(a) ほぼ／8割以上の内容を読み取っている。 (b) 概ね／6割以上の内容を読み取っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) 友達のあこがれの人やキャラクターを知るために、友達のワークシートに書かれた文を適切に読み取っている。また、書かれている内容からその人物やキャラクターの得意なことや特徴、友達のことについて考えを深めている。 (b) 友達のあこがれの人やキャラクターを知るために、友達のワークシートに書かれた文を適切に読み取っている。 (c) 上記の状況に達していない。	(a) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、友達のワークシートに書かれた文を適切に読み取ろうとしている。また、友達の文や書き方のよさに気づこうとしている。 (b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、友達のワークシートに書かれた文を適切に読み取ろうとしている。 (c) 上記の状況に達していない。
<知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.26-27 単元まとめ ワークシート Lesson 9 大問3を活用する評価方法もある。(正答率8割 : a, 6割 : b)				
話すこと〔やり取り〕 〔Activity 2, Activity 3, Final Activity〕	評価規準	<知識>人物の特徴を表す語句や表現 (He [She] can 【できること】 .. I am [He is / She is] good at 【得意なこと】 .. He [She] is [brave / cool / cute].) について理解している。 <技能>人物の特徴を表す語句や表現 (He [She] can 【できること】 .. I am [He is / She is] good at 【得意なこと】 .. He [She] is [brave / cool / cute].) について、伝え合う技能を身に付けている。	お互いのあこがれの人やキャラクターを知るために、その人物やキャラクターの得意なことやできること、特徴について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。	お互いのあこがれの人やキャラクターを知るために、その人物やキャラクターの得意なことやできること、特徴について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。
	評価場面案	Activity 2, Activity 3, Final Activity	Activity 2, Activity 3, Final Activity	Activity 2, Activity 3, Final Activity
	評価方法	行動観察	行動観察	・行動観察 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析
	ポイント・補足	Final Activityをやり取りの形式で行うことで話すこと〔やり取り〕の評価を行うこともできる。		

			<p>(a) お互いのあこがれの人やキャラクターを知るために、伝える内容や使う表現、順序を工夫したり、話すスピードや声の調子、反応の仕方などを工夫したりしながら、伝え合っている。また、自ら質問を加えるなど、会話を広げながら伝え合っている。</p> <p>(b) お互いのあこがれの人やキャラクターを知るために、伝える内容や使う表現、順序を工夫したり、話すスピードや声の調子、反応の仕方などを工夫したりしながら、伝え合っている。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p> <p>※『研修ガイドブック』2授業研究編Ⅱp.84「対話を続けるための基本的な表現」<図表1>参照</p>	<p>(a) 友達の話や話し方、尋ね方のよさ及びこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に伝え合おうとしている。</p> <p>(b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に伝え合おうとしている。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>
話すこと〔発表〕 〔Final Activity〕	評価規準	<p><知識>人物の特徴を表す語句や表現 (He [She] can 【できること】 .. I am [He is / She is] good at 【得意なこと】 .. He [She] is [brave / cool / cute].) について理解している。</p> <p><技能>人物の特徴を表す語句や表現 (He [She] can 【できること】 .. I am [He is / She is] good at 【得意なこと】 .. He [She] is [brave / cool / cute].) について、発表する技能を身に付けている。</p>	<p>友達に自分のあこがれの人やキャラクターを知ってもらうために、その人物やキャラクターの得意なことやできること、特徴について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表している。</p>	<p>友達に自分のあこがれの人やキャラクターを知ってもらうために、その人物やキャラクターの得意なことやできること、特徴について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表しようとしている。</p>
	評価場面案	Final Activity	Final Activity	Final Activity
	評価方法	行動観察	行動観察	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・教科書p.111「Lesson 9をふりかえろう」記述分析 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析
	評価基準	<p>(a) 基本的な語句や目標表現をほぼ8割以上適切かつ正しく用いながら発表している。</p> <p>(b) 基本的な語句や目標表現を概ね6割以上適切かつ正しく用いながら発表している。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>	<p>(a) 友達に自分のあこがれの人やキャラクターを知ってもらうために、話す内容や使う表現、順序を工夫したり、より詳しい情報を付け加えるなど工夫したりしながら発表している。また、話すスピードや声の調子など工夫しながら発表している。</p> <p>(b) 友達に自分のあこがれの人やキャラクターを知ってもらうために、話す内容や使う表現、順序を工夫しながら発表している。また、話すスピードや声の調子など工夫しながら発表している。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>	<p>(a) 友達の話や話し方のよさ及びこれまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に発表しようとしている。</p> <p>(b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に発表しようとしている。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>
書くこと 〔LRW, S&L 2, Review 1〕	評価規準	<p><知識>人物の特徴を表す語句や表現 (He [She] can 【できること】 .. I am [He is / She is] good at 【得意なこと】 .. He [She] is [brave / cool / cute].) について理解している。</p> <p><技能>人物の特徴を表す語句や表現 (He [She] can 【できること】 .. I am [He is / She is] good at 【得意なこと】 .. He [She] is [brave / cool / cute].) について、書き写す技能を身に付けている。</p>	<p>友達に自分のあこがれの人やキャラクターを知ってもらうために、その人物やキャラクターの得意なことやできること、特徴について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現の中から適したものを選んで、書き写している。</p>	<p>友達に自分のあこがれの人やキャラクターを知ってもらうために、その人物やキャラクターの得意なことやできること、特徴について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現の中から適したものを選んで、書き写そうとしている。</p>
	評価場面案	LRW	LRW	LRW
	評価方法	巻末ワークシート記述分析	巻末ワークシート記述分析	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末ワークシート記述分析 ・指導書『ワークシート編』ふりかえりシート記述分析
	ポイント・補足	<p><思・判・表><主>は、教師用指導書『ワークシート編』Lesson 9を活用し、同じワークシートやMy Word Bankを参考に、目的に応じて語句を選び、1～2文ずつ書き写す活動を取り入れることで、巻末ワークシートでの記述に向けた学習改善を図ることもできる。</p>		
評価基準	<p>(a) 英語の書き方のきまりに沿って、ほぼ8割以上適切かつ正しく書き写している。</p> <p>(b) 英語の書き方のきまりに沿って、概ね6割以上適切かつ正しく書き写している。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p> <p>※英語の書き方のきまり：4線に正しく書く。文のはじめは大文字。単語と単語の間は空ける。単語の文字と文字の間は空けない。文末にピリオドをつける。など</p>	<p>(a) 友達に自分のあこがれの人やキャラクターを知ってもらうために、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現の中から適したものを選んで、読み手が理解しやすいように、言葉を加えて丁寧に書き写し、自分の考えや思いを表現している。</p> <p>(b) 友達に自分のあこがれの人やキャラクターを知ってもらうために、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現の中から適したものを選んで、読み手が読みやすいように書き写し、自分の考えや思いを表現している。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>	<p>(a) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に書き写そうとしている姿が多く見られる。</p> <p>(b) これまでの学習の中で気づいたことを活かして、適切に書き写そうとしている姿が見られる。</p> <p>(c) 上記の状況に達していない。</p>	
<p><知・技>に関して 指導書『ワークシート編』p.26-27 単元まとめ ワークシート Lesson 9 大問4を活用する評価方法もある。(正答率8割：a, 6割：b)</p>				